

日本天文学会2006年春季年会のお知らせ

2006年春季年会は、2006年3月27日(月)から29日(水)までの3日間、和歌山大学(和歌山県和歌山市)にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の99巻3月号(2006年2月20日発行)に掲載予定です。

(1) 料金表

項目	会 員	非会員	
参 加 費	3,000 円 (不課税) (但し会員で講演ありの場合、参加費は無料)	5,000 円 (消費税込み)	
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)	(1講演につき)
年会予稿集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み)	

※講演申し込み後キャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目	
講演申込	(郵 送)	2005年12月19日(月) 必着	日本天文学会年会係	(3) (4) (5) (6)
	(電子メール)	2005年12月6日(火) 正午から 2005年12月20日(火) 正午まで(注1)	年会Webページでアナウンス	
複数講演の順序指定	2005年12月26日(月) 正午まで	年会実行委員会	(7)	
ポストデッドライン・ペーパー	2006年3月20日(月) まで	年会実行委員会	(8)	
最新情報コーナー	年会会期中まで	年会実行委員会	(9)	
保育室の利用申込	2006年2月28日(火) まで	年会実行委員(保育室担当)	(10)	
講演の変更など	分かった時点ですぐに	年会実行委員会	(11)	
各種の会合申込	2006年2月28日(火) まで	年会開催地理事	(12)	
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2006年12月1日(木) まで	年会実行委員会	(13)	
旅費一部補助	2006年1月20日(金) 必着	本号「旅費補助について」参照		
ジュニアセッション講演申込	2006年12月20日(火) 必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照		

(注1) 電子メールの自動受付は12月21日(水)午前9時まで行いますが、12月20日(火)正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として12月20日(火)正午までに投稿してください。

連絡先

- ◆年会実行委員会 委員長 百瀬 宗武 (年会理事・茨城大学)
e-mail: committee2006@nenkai.asj.or.jp 電話/FAX: 029-228-8402
- ◆日本天文学会年会係 長谷川直子
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
e-mail: committee2006@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487
- ◆年会開催地理事 富田 晃彦 (開催地理事・和歌山大学)
〒640-8510 和歌山市柴谷930 和歌山大学教育学部
e-mail: atomita@center.wakayama-u.ac.jp 電話: 073-457-7319 FAX: 073-457-7220

© 年会開催期間(2006年3月27日～29日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- ・講演分野は、以下の15分野です。
J.高密度星, K.超新星爆発, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P.星・惑星形成, Q.星間現象, R.銀河,
S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V.地上観測機器, W.飛翔体観測機器, X.銀河形成,
Y.天文教育・その他
- ・今回は「企画セッション」はありません。

(4) キーワード

- ・分野のあとに、キーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- ・特に、以下の分野については「推奨キーワード」の中からも該当するものを選んで、キーワードの先頭に入れてください。
- ・観測機器分野（地上・飛翔体）で関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。

◎ 推奨キーワード

- 高密度星 : 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
- 超新星爆発 : 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
- 太陽 : 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
- 恒星 : 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
- 銀河 : 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
- 銀河形成 : 銀河進化, 化学進化, 原始銀河
- 地上観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー線, 宇宙線
- 飛翔体観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ線, 重力波

(5) 講演の形式

- ・(a) 口頭講演 (9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分間の口頭発表); (c) ポスター講演・口頭発表無し (ポスターのみ) の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。なお (a) 講演で講演者となれるのは、年会全体で1人1講演までとなりますのでご注意ください。
- ・口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター (OHP) または液晶プロジェクターを使用してください。(b) 講演ではOHPを使用することを推奨しています。
- ・ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は、縦180cm, 横90cmです。)

(6) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- ・規定の原稿用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、天文学会年会係までお送りください。
- ・規定の原稿用紙は、必要枚数、送付先を明記の上、e-mailあるいはFAXで天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申し込みの場合

- ・年会のWebページに掲載します。

※講演内容については完成度の高いものに限ります。また予稿集の紙面をできるだけ有効に利用してください。極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは受理しません。

※予稿集は事前配布となっており、2006年2月20日付で発行する予定です。年会のWebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもあり得ます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際等、十分ご注意願います。

◆注意：講演者は氏名の欄で○をつけてください (必ずしも筆頭著者でなくても結構です)。講演登録費はこの講演者が支払うことになります。

(7) 複数講演の順序指定

- ・プロジェクト等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申し込み後期限内に、下記1~4を明記し、年会実行委員会宛にご連絡下さい。

1. セッション名 2. 受付番号（漏れが多いので注意） 3. 発表形式 **(a, b, c)** 4. 発表者名

尚、**(b)** 講演は3つ一括りが原則です。3つに満たない場合は、最初か最後に並べて下さい。また、ご希望に添えない場合もありますので、ご承知置き下さい。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- ・PDLは、単に講演申し込みの締切日に間に合わなかったものではなく、緊急性・トピックス性に富んだものに限定されます。具体的には、約半年後の次の年会での発表まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申し込みよりもかなり受け付けの基準が厳しくなります。
- ・年会の申し込み期間締切後、3月20日（月）まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付してください。
- ・PDLの講演方法は、**(b)** ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）または**(c)** ポスター講演・口頭発表無し（ポスターのみ）となります。ただし、プログラムに余裕がない場合は**(c)** 講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- ・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等には掲載されません。
- ・発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(10) 天文学会会期中の保育室

- ・保育室を設置する予定です。詳細につきましては、年会のWebページに掲載します。ご不明な点は年会実行委員（保育室担当）へメール（hoiku2006@nenkai.asj.or.jp）でお問い合わせ下さい。

(11) 講演のキャンセルや変更

- ・やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、その理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。プログラム公開後は、講演番号もあわせてお知らせ下さい。
- ※講演のキャンセルは労力と時間の無駄になります。キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。

(12) 年会時の各種会合

- ・会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会開催地理事までご連絡ください。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯です。
- ・申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つような話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、会員の多くが興味を持つようなテーマについて、講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員長までご相談ください。

(14) 学生等の旅費一部補助

この件についての詳細は、次ページをご覧ください。

百瀬 宗武（年会実行委員長）

日本天文学会旅費補助について

日本天文学会では、正会員（学生）の年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、該当する申込締切日までに下記の用紙（学会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/asj/forms.html> からダウンロードできます）に記入の上、郵送かFAXで申請して下さい。

応募資格は、講演者（ポスター講演も含む）であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費が適用されていて、かつ正式な給与を受けていない人に限ります（日本学術振興会の特別研究員等は、補助対象外です）。

1. 旅費は、年会会場でお渡ししますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越し下さい。年会終了後にはお渡しできませんので、ご注意ください。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙をコピーしてご使用下さい。
4. 申請先
 郵送：〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会
 FAX：0422-31-5487
 締切 春季年会：1月20日・秋季年会：7月20日 必着
 なお、電子メールでの申請は受付けていません。
 不明な点は、学会事務所にお尋ね下さい（TEL 0422-31-1359）。

..... キリトリセン

年会旅費補助申請書

年 月 日

(社) 日本天文学会 理事長様

(ふりがな)
 申請者氏名 _____ 会員番号 _____

所 属 _____ E-mail _____

講演受付番号 _____ 出 発 地 _____

講演題名 _____

指導教官所属・職・氏名
 (自筆署名)

日本天文学会 第8回ジュニアセッションのお知らせ

中学生・高校生・高専生が天文学会年会の場で発表するジュニアセッションを、2006年の天文学会春季年会で開催します。天文や宇宙に関係することについて、観測・研究したり調べたりしたことがあれば、なんでも発表できます。発表は下記の通りに募集しますので、ふるって応募してください。多くの皆さんの参加があることを期待しています。

◆日時・場所

日本天文学会 2006年春季年会にて

2006年3月27日(月)～29日(水)、和歌山大学(和歌山県和歌山市)

- ・口頭発表 : 3月27日(月)
- ・ポスター発表: 年会会期中

◆発表を申し込める人

- ・小学生(高学年)、中学生、高校生、高専生(1～3年)など10歳台の方。高校卒業後は1年以内まで。(以下では、簡単のために「生徒」と表記)
- ・個人または団体(グループ)。
- ・申し込みの手続きは、代表者(生徒でも指導者でもよい)が行ってください。代表者はなるべく連絡が取れやすい人にしてください。(なお、著者名としては生徒のみとします。)

◆発表の内容

- ・天文学や宇宙に関係する研究。(高専4年次以上および大学で行なった学習や研究は除きます。)

◆講演方法

- ・口頭発表かポスター発表を選択してください。両方選択することも可。(口頭発表の場合も、できればポスターでも発表するようにしてください。)
- ・講演方法(口頭かポスター)は、原則的には希望どおりとしますが、特に発表の件数が多い場合などは、ポスター発表のみになる場合がありますのでご了承ください。
- ・年会会場まで来られない場合などは、予稿とポスターを提出するだけの発表も可能です。申し込み時にお知らせください。

◆申し込みの方法とその受理

- ・2005年12月20日(火)必着で、講演申し込みを電子メールか郵便で送ってください。可能ならば電子メールをお願いします。
- ・電子メールでの申し込み:
 - 件名(Subject)に、「ジュニアセッション講演申し込み」と記入。
 - 送り先: junior-sub@nenkai.asj.or.jp
 - 注意 : 電子メールで申し込みを行った場合には、受け取り確認のメールが数日以内に返送されます。もし、確認のメールが届かない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- ・郵送での申し込み:
 - 封筒の表には、「ジュニアセッション講演申し込み」と赤い文字で記入。
 - 送り先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
- ・申し込みには、次の各項目について記載してください。書き方は自由です。
 - (a)講演のタイトル
 - (b)著者名、学年、学校名(著者名、学校名にはふりがなも記載。)
 - (c)概要(500字程度。これは、プログラム作成の参考のため。)
 - (d)希望する講演方法(口頭発表かポスター発表、または両方)
 - 特にポスターのみを希望するときには、会場に出席するのか、それともポスターを提出するのみか

を書いてください。

(e)連絡先（郵便番号、住所、氏名、電話、FAX、電子メール等。）

- ・申し込まれた講演については、ジュニアセッション実行委員会で審査をし、受け付けるかどうかを申込者にお知らせします。
- ・講演申し込みが受け付けられた場合は、発表内容を A4 で 2 ページにまとめた予稿を作成して、上記の天文学会年会係まで郵送してください。これは、ジュニアセッション予稿集として印刷されます。締切は、2006 年 2 月中旬を予定しています。詳しいことは、講演が受け付けられた方にご連絡します。
- ・予稿につきましても、ジュニアセッション実行委員会で審査をします。

◆発表手段

- ・口頭発表では、OHP か液晶プロジェクターが使えます。パソコンを使う場合には、各自で持参してください。（パソコンをプロジェクターに繋ぐときにトラブルが無いよう、事前の確認をお願いします。）
- ・口頭発表の時間については、プログラムが決まった時にお知らせします。
- ・ポスター掲示用のボードの大きさは、縦 180cm×横 90cm を予定しています。

◆セッション参加についての注意

- ・ジュニアセッションだけに参加する場合（発表および聴講）は、年会の参加費や講演登録費をお支払いいただく必要はありません。年会受付での手続きのときに、ジュニアセッションのみに参加することを申し出てください。
- ・生徒の方は、そのまま通常のセッションを聴講しても構いません。（一般の方がジュニアセッション以外のセッションを聴講される場合には、参加費をお支払いください。）

◆ウェブサイト

- ・ジュニアセッションについての情報や過去の発表内容につきましては、ジュニアセッションのウェブサイトに掲載されています。日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> からジュニアセッションを選んでください。
- ・日本惑星協会のウェブサイト (<http://www.planetary.or.jp/>) にも、過去の発表内容（一部）が掲載されています。

◆ジュニアセッション実行委員および世話人

実行委員：

吉川真、小野智子、篠原秀雄、永井智哉、松本直記

世話人：

縣秀彦、有本淳一、石川直美、大山真満、鈴木文二、谷川智康、内藤博之、西村昌能、長谷川直子、室井恭子、山岡均、渡部潤一

◆ジュニアセッションについての問い合わせ先

ジュニアセッションにつきましては、お近くの実行委員や世話人、または下記のジュニアセッション実行委員長まで、お問い合わせください。実行委員や世話人の連絡先は、ジュニアセッションのウェブサイトに掲載されています。発表内容等についても、お気軽にご相談ください。

ジュニアセッション実行委員会 委員長 吉川 真 (ISAS/JAXA)

TEL&FAX : 042-759-8341

e-mail : makoto@isas.jaxa.jp